

コロナ感染拡大防止のために

12月までは県内のコロナ感染0という報道が多かったのですが、1月に入りあっという間に日本国中に感染が広がり、都城・三股が感染警戒区域から感染急増圏域の指定、そして「まん延防止等重点措置」の対象となりました。

感染経路が分からない市中感染も報道されており、私たちはいつ・どこでコロナ禍に巻き込まれるか分かりません。そこで、菓子野小では感染予防の徹底のために、以下の点について重点的に取り組んでいます。

- 丁寧な手洗い・マスクの着用の徹底
 - 教室のこまめな換気・座席の配置の工夫
 - 消毒液を使用した校内の清掃の実施（1日1回以上、職員が行う。）
 - 他の学年との交流をできるだけ減らし同学年児童のみの学習活動の実施
 - ICTの活用（校内研修・庄内地区一貫教育の成果の実践）
 - 児童が密になる状況を無くするための特別校時の実施（昼休みの短縮等）
 - 無言で登下校する指導
- ご家庭でも感染予防をお願いします。

2月の主な行事予定

- 1日(火) くれよん号
- 3日(木) 新入児入学説明会
- 8日(火) 中学校入学説明会(菓子野小)
- 9日(水) 国際交流員との交流会(1年)
- 11日(金) 建国記念の日
- 14日(月) 国際交流員との交流会(2年)
- 15日(火) 表現集会(1・2年)
- 21日(月) 代表委員会
- 23日(水) 天皇誕生日
- 24日(木) 参観日
学校保健委員会

（コロナの感染状況によっては、中止または変更する場合があります。）

ICTの活用について

庄内地区では、菓子野小・庄内小・乙房小・庄内中の4校の先生方が協力して、小中一貫教育の研究に取り組んでいます。小中一貫教育とは、9年間で庄内地区の子どもたちの「すぐれた知性・豊かな心・たくましいからだ・ふるさと教育」を伸ばすための研究です。

本年度は菓子野小が事務局となって研究を推進し、1人1台端末が配付されたことから、ICTを活用した授業について研究してきました。1月19日(水)は第2回全体研修会をオンラインで行い、4校の先生方で本年度の研究のまとめと次年度の取組について話し合いました。

以下に、これまでの活用の様子と共に、庄内地区の子どもたちが小学校で学ぶ内容に関する指導計画を紹介します。（他にもパソコンを使う時のルール等もつくりました。）

【カメラ機能を使った学習】 【調べたことの発表】



【オンライン授業】

【プレゼンテーション】



庄内地区小学校「1人1台端末・高速通信環境」を活かした学びの変容イメージ（R4～）

